

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年3月15日(2024.3.15)

【公開番号】特開2022-160767(P2022-160767A)

【公開日】令和4年10月20日(2022.10.20)

【年通号数】公開公報(特許)2022-193

【出願番号】特願2021-65167(P2021-65167)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月7日(2024.3.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1記憶領域に記憶される領域内プログラムと、前記第1記憶領域とは異なる第2記憶領域に記憶される領域外プログラムと、を有する

遊技機において、

バックアップ復帰処理とRAMクリア処理とを含む複数処理の何れかを、電源投入時に実行可能であり、

前記領域外プログラムによる判定処理に基づいて、所定RAM領域に所定判定情報を設定可能であり、

前記所定判定情報が設定された場合に、所定制御手段の制御により特定報知を行うためのコマンド送信を前記領域外プログラムにより実行可能であり、

電源投入時に前記バックアップ復帰処理が行われた場合には、前記所定判定情報をクリアしないことで前記特定報知を継続して実行する一方、

電源投入時に前記RAMクリア処理が行われた場合には、前記所定判定情報をクリアすることで前記特定報知を実行しない

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記領域外プログラムによる前記判定処理に基づいて、前記所定RAM領域に前記所定判定情報が設定された場合、前記領域内プログラムにより遊技停止処理を実行可能に構成した

ことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機等の遊技機では、いわゆる遊技機規則において、主基板に搭載されるROM等の記憶手段に関する規格が定められており、全体の記憶容量の他、例えばROMに関しては制御領域とデータ領域とで構成される使用領域(第1記憶領域)の記憶容量について

50

制限が設けられ、不正な改造その他の変更を防止するために必要な情報以外の情報についてはその使用領域内で処理を行うこととされている（例えば特許文献1）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明は、記憶容量に制限のある記憶手段を用いた処理をより適切に行うことが可能な遊技機を提供することを目的とする。

10

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本願発明は、第1記憶領域に記憶される領域内プログラムと、前記第1記憶領域とは異なる第2記憶領域に記憶される領域外プログラムと、を有する遊技機において、バックアップ復帰処理とRAMクリア処理とを含む複数処理の何れかを、電源投入時に実行可能であり、前記領域外プログラムによる判定処理に基づいて、所定RAM領域に所定判定情報を設定可能であり、前記所定判定情報が設定された場合に、所定制御手段の制御により特定報知を行うためのコマンド送信を前記領域外プログラムにより実行可能であり、電源投入時に前記バックアップ復帰処理が行われた場合には、前記所定判定情報をクリアしないことで前記特定報知を継続して実行する一方、電源投入時に前記RAMクリア処理が行われた場合には、前記所定判定情報をクリアすることで前記特定報知を実行しないように構成したものである。

20

また、前記領域外プログラムによる前記判定処理に基づいて、前記所定RAM領域に前記所定判定情報が設定された場合、前記領域内プログラムにより遊技停止処理を実行可能に構成してもよい。

30

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、記憶容量に制限のある記憶手段を用いた処理をより適切に行うことが可能である。

40

50